

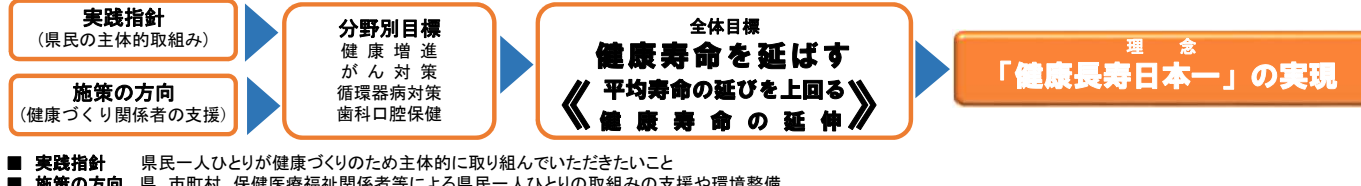
# 第2次「健康やまがた安心プラン」について



## 概要

- **位置づけ** ※4つの法定計画を一体的に策定  
山形県健康増進計画（第3次）  
山形県がん対策推進計画（第4次）  
山形県循環器病対策推進計画（第2次）  
山形県歯科口腔保健計画（第4次）
- **計画期間** ※6年後（令和11年度）に中間見直し  
令和6年度から令和17年度（12年間）

## 理念



## 現状と課題

### 健康増進

- **平均寿命と健康寿命**  
本県の平均寿命及び健康寿命は男女ともに伸びたものの、両者の間には依然として大きな差がある。

男性	平均寿命(R2)	81.39	健康寿命(R1)	72.65	差	8.74年
女性	平均寿命(R2)	87.38	健康寿命(R1)	75.67	差	11.71年

- **食塩摂取量 (20歳以上)**  
策定時より改善したが、目標には届かず。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
12.2g	10.5g	8.0g

- **運動習慣者 (20~64歳) の割合**  
策定時より男女とも改善したが、女性は目標に達していない。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
男性29.4%	男性40.2%	男性36%
女性21.8%	女性29.0%	女性33%

- **40歳男性の肥満者 (BMI25以上) の割合**  
策定時より悪化。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
31.0%	36.4%	28.0%

- **20歳代女性のやせ (BMI18.5未満) の者の割合**  
策定時より改善したが、目標には届かず。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
25.5%	22.2%	20.0%

## 第2次プランのポイント

健康増進 ~全ての県民が共に支え合い、健やかで心豊かに安心して生活できる持続可能な社会の実現~

**《主なポイント》**

- 食塩摂取量については、目標に達しなかったことや本県の食文化を踏まえ、当面は令和10年の8g達成を目指す。一方で、最終目標(R14)は7gとする。
- 歩数に係る目標を新たに設定。
- ライフステージや性差に応じた健康づくりを推進するため、【こども】【高齢者】【女性】の健康に関する目標を新たに設定。
- 県民一人ひとりの健康づくりを支援する社会環境や基盤の整備(健康経営等)に向けた目標を新たに設定。

目標指標	
現状値	目標値
食塩摂取量の平均値(20歳以上)	
10.5g(R4)	8g(R10)
1日の平均歩数	
男性7,098歩(H28)	8,000歩(R14)
女性5,893歩(H28)	
骨粗鬆症検診の受診率	
6.3%(R4)	15%(R14)
「やまがた健康企業宣言」登録事業所数	
1,554社(R5.8月)	2,000社(R14)

**《実践指針》**

- 素材の味をいかした減塩生活を心がけましょう
- エレベーター・エスカレーターを問わず階段を使うなど歩く機会を増やしましょう
- 事業主は健康経営に取り組みましょう など

**《施策の方向性》**

- 素材の味をいかした減塩の推進
- 市町村が行うウォーキング事業等と連携し、県民の歩く習慣を定着
- 骨粗鬆症の予防や検診の重要性について啓発
- 「やまがた健康企業宣言」登録事業所へのインセンティブ付与 など

### がん

- **がん検診受診率(40歳(子宮頸がんは20歳)以上)**  
策定時より全てののがんで改善。肺がんは目標を達成。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
胃がん 47.0%	胃がん 57.3%	60.0%
乳がん 40.8%	乳がん 48.8%	
子宮頸がん42.1%	子宮頸がん46.8%	
肺がん 35.5%	肺がん 63.6%	
大腸がん36.3%	大腸がん58.3%	

- **がん検診受診率(40歳(子宮頸がんは20歳)以上)**  
策定時より全てののがんで改善。肺がんは目標を達成。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
61.4%		

- **がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合**

現状値(H30)
61.4%

がん ~誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す~

**《主なポイント》**

- がん検診の更なる受診率向上に向け、目標値を60%から70%へ引き上げ。
- がんになっても就業を継続できる社会の構築に向けた目標を設定

目標指標	
現状値	目標値
がん検診の受診率(69歳以下)	
胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん 57.5%~69.0%(R4)	70%(R11)
がんと診断後も仕事を継続していた患者の割合	
61.4%(H30)	65%(R11)

**《実践指針》**

- 定期的ながん検診を受けましょう など

**《施策の方向性》**

- 「みんなで取り組む『がん対策 県民運動』」を展開
- 各事業所における柔軟な勤務体制や休暇制度の導入、がん患者への理解や協力の推進 など

### 循環器病

- **脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)**  
策定時より男女ともに改善がみられるが、全国平均より高い。

策定時(H22)	現状値(R4)	全国平均
男性180.8	男性114.6	男性93.8
女性110.9	女性71.4	女性56.4

- **虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)**  
策定時より男女ともに改善がみられるが、全国平均より高い。

策定時(H22)	現状値(R4)	全国平均
男性94.6	男性82.8	男性73.0
女性51.9	女性35.4	女性30.2

循環器病 ~循環器病の発症と死亡を減らし、全ての県民が健やかで質の高い生活ができる社会の実現~

**《主なポイント》**

- 循環器病による死亡率の低下に向け、特定健診受診者における血圧等の有所見率に着目した目標を新たに設定
- 循環器病に関する適切な情報提供や相談支援ができる環境整備の充実

目標指標	
現状値	目標値
特定健診における有所見率(収縮期血圧130mmHg以上)	
男性 47.3%(R2)	減少(R11)
女性 38.2%(R2)	

**《実践指針》**

- 毎年健康診断を受診し、異常があれば放置せず医師に相談しましょう など

**《施策の方向性》**

- 循環器病に係る総合相談窓口の整備
- 循環器病の予防や発症時の症状と適切な対応を啓発 など

### 歯科口腔保健

- **過去1年間に歯科健診を受診した者の割合(18歳以上)**  
策定時より改善したが、目標には届かず。

策定時(H22)	現状値(R4)	目標(R5)
44.6%	56.3%	65.0%

- **40歳における進行した歯周病を有する者の割合**  
40歳代は歯周病が顕在化する年代であり、現状では54.0%(R3)と半数を占めている。

- **むし歯のない3歳児の割合**  
策定時より改善し、概ね目標を達成。一方で、1人で多くのむし歯を有する3歳児が一定数存在。

策定時(H22)	現状値(R3)	目標(R5)
70.2%	89.4%	90%

歯科口腔保健 ~全ての県民にとって健康で質の高い生活を営む基盤となる歯科口腔保健の実現~

**《主なポイント》**

- 定期的な歯科健診による口腔管理は、歯・口腔の健康状態に大きく寄与することから、目標値を65%から95%に引き上げ。
- 乳幼児期・学齢期における歯・口腔に関する健康格差の縮小に向けた新たな目標を設定

目標指標	
現状値	目標値
過去1年間に歯科健診を受けた者の割合(18歳以上)	
56.3%(R4)	95.0%(R14)
3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	
2.7%(R3)	0%(R14)

**《実践指針》**

- 1日2回以上丁寧に歯磨きをし、年1回以上定期的に歯科健診を受けましょう など

**《施策の方向性》**

- 乳幼児歯科健診、フッ化物塗布、成人歯科保健指導等の実施
- 障がい児(者)や要介護高齢者等、特にサポートを必要とする人への歯科口腔保健の施策を推進 など

「健康長寿日本一」の実現